

## ■事業の概要

### 1. 管理運営全般

#### (1) 理事会及び評議員会の開催状況

平成 30 年度において、理事会を 5 回、評議員会を 5 回開催しました。

#### (2) 監査の実施状況

##### ア. 監事監査

監事は、平成 30 年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成 24 年度より中間監査を行っており、平成 30 年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

##### イ. 監査法人による会計監査

平成 30 年度において、監査法人彌榮会計社による監査が 15 日間に亘って実施されました。

##### ウ. 内部監査

平成 29 年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および平成 30 年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について内部監査委員による内部監査を行いました。また、平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）の帳簿と証憑についても同様に内部監査を行いました。

#### (3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、平成 30 年度においても学園の将来構想について検討を行ってきました。

### 2. 大学・大学院

#### (1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、入学生の質的および量的な確保のため、積極的な広報活動に取り組んでいます。重点施策として、オープンキャンパスの動員強化や資料請求者に対するきめ細かいフォローにつとめています。その結果、2019 年度入試での志願者数は、前年の 3.8%増（第 1 志望のみ）となりました。

「学力の 3 要素」を多面的、総合的に評価すること、アドミッションポリシーに沿った入学者選抜を行うこと等の観点から、入学後の状況に関する追跡調査や出願動向などの分析結果を踏まえて入試改革の検討をすすめています。

また、2021 年度以降における入学者選抜に係る新たなルールへの対応方針に関する予告を 2019 年 3 月に公表しました。

#### (2) 理学療法学科及び作業療法学科の教育課程変更の準備作業

2020 年度の入学生から指定規則が改定される標記 2 学科について、2019 年度に行う教育課程の

変更申請等の準備作業を行いました。

### (3) 3つのポリシーの見直し

本学は、大学全体、各学部、各学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めてホームページ等により公表していますが、一部必要な修正を行いました。

### (4) アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、不断の点検と改善の取り組みを行っています。これを計画的に実行していくために、2016年度に受審した第三者機関による機関別認証評価に伴って本学の中期目標・中期計画を策定し、それを実現するための具体的な年次計画として「関西医療大学 中期目標・中期計画に係るアクションプラン」を定めてフォローアップを行っています。今年度は41項目のアクションプランを各部署・委員会で推進し、年度末に進捗状況の自己点検・評価を行い次年度に向けてPDCAサイクルを回しました。

### (5) 学修成果発表会の開催

2018年8月31日（金）に、学生主体の学修成果の発表により個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として、「第4回学修成果発表会」を開催しました。夏休み中に準備をする学生が多く見られるなど、学生の学修意欲を向上させる機会となっており、シンポジウム5題、講演発表23題、参加者505名でした。なお、学修成果発表会終了後に、教員及び学生にアンケートを行って検証し、実施内容の見直しを行っています。

### (6) 教育環境の整備

- ①学生の就職後に有益となる教育を行うために、保健看護学科に電子カルテ等のシステムを導入しました。
- ②2018年度より、保健看護学科、作業療法学科の1年次学生を対象に、ベルリッツの講師を招いてネイティブスピーカーによる授業を開講しました。学生の授業への満足度は高く、授業の効果が出ていると考えられるため、来年度は、同学科2年生でも、ネイティブスピーカーによる授業を実施することで、英語教育の充実に取り組みます。
- ③その他、必要な教材等を購入するなど、教育環境のより一層の充実を図りました。

### (7) 学生サービス

- ①昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生や関西医療学園奨学生を選出しました。
- ②学生増に対応して、通学バスのダイヤを見直すなどの対策を講じて、通学の利便性を確保しました。

### (8) 進路支援

学生の進路指導については、各学科の進路個人面談を行ったほか、キャリア支援イベントとして「合同就職説明会」、面接のマナー（模擬面談）講習やコミュニケーション研修などの「キャリア教育」、「卒業生と語る会」、「特別講義」等を開催しました。

また、臨床検査学科については、第1・2期生の進路傾向を把握し、それらを基に教員とキャリア支援課が連携して、病院、検査センターやCRC（治験コーディネーター）の企業など多岐にわたった求人開拓を行いました。

全学的には、本学学生が就職した実習施設を中心に近隣の病院及び施術所をキャリア支援課職員が訪問して、卒業生の勤務状況などを確認するなど、本学知名度の向上を含めたフォローアップを行いました。

#### (9) 在学生のモチベーションアップ講演会・保護者説明会の開催

前年度に引き続き、2018年4月5日（木）の入学式終了後に、新入生を対象として、学生の勉学や就職へのモチベーションを高めるため、「人間力」についての特別講義を開催しました。また、2015年度から行っている保護者説明会を、2018年度もこの講演会の時間に開催しました。

#### (10) 研究

教員が13の研究ユニットのいずれかに属し、共同研究推進委員会がこれを統括するという研究体制を取っており、研究体制のさらなる改良を検討しています。その他、学内において研究交流会の開催等の活動を行っています。

平成27年度より、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しており、今年度も開催しました。さらに、学内の全教員、研究に係る業務を担当する職員および大学院生が、eラーニングによる研究者行動規範教育（APRIN）を受講することで、研究倫理教育のより一層の推進を図りました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

#### (11) 施設・設備の整備・補修等

以下のとおり、施設・設備の整備・補修等を行いました。

- ①管理棟および1号館の空調GHP設備更新工事
- ②管理棟および1号館の屋上防水修繕工事
- ③1号館2階実技室（221～226）のロスナイ・強制排気更新工事
- ④1号館2階209・210講義室の漏水修繕工事
- ⑤診療・研究棟の瓦棒の防水ならびに外壁タイル、外壁シールの修繕工事
- ⑥3号館3階B33理学療法評価室の改修
- ⑦老朽化した音響設備の更新
- ⑧印刷機の設置
- ⑨植栽復旧工事
- ⑩消化ポンプ室の区画間仕切り等設置
- ⑪動物実験センター床シート張替工事
- ⑫正門坂道歩道アスファルト舗装修繕工事
- ⑬大学敷地内イルミネーション電源工事

#### (12) 大学（教学）業務基幹システムの導入

Web上で自分の時間割や成績、シラバス等の情報を見ることができるようなど、学生サービスを充実し、併せて大学（教学）業務の一部を見直してシステム化するため、大学業務基幹システムを2015年度から順次導入する計画を進めました。このことにより、大学全体のデータを一体化し、業務を効率化することが期待できます。このうち、2015年度は設計と一部開発を行い、2016年度は本開発とテスト稼働を行い、2017年度には本稼働を行いました。2018年度はこのシステムに必要なカスタマイズ等を行い、システムの初期導入作業を終了しました。

#### (13) 自己点検・評価

平成28年度の認証評価受審に伴い、大学が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、

その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、改善に努めました。

また、教員の教育研究の実態調査を目的として、平成17年度から継続的に行っている「教員の活動状況調査票」について、引き続き、平成29年度の活動を対象とする調査を実施しました。

#### (14) FD・SD活動等

##### ア. FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価を行い、また、改善点について、検討を行いました。

- ①学内講師の講演会の開催
- ②授業評価アンケートの実施
- ③学外研修会への参加
- ④初任者研修会の開催

また、2015年度にカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づいたカリキュラムマップを作成し、科目のナンバリングを行って、2016年度シラバスで、すべての科目にこのナンバリングを記載して各学科における科目の位置づけを明確にしましたが、2018年度も引き続き記載しました。

##### イ. SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指すように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、外部講師を招きSD研修会ならびにハラスメント研修会を開催しました。

#### (15) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

2018年度は、独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」の短期コース研修生1名（パラグアイ）を受け入れました。

#### (16) 地域貢献・社会貢献

##### ア. 公開講座の開催

平成30年度は、メインテーマを「未病から先がけの医療へー健康長寿社会の実現を目指してー」とし、平成30年10月20日（土）に公開講座を開催し、164名の参加がありました。外部より講師を招き、「病気になっても歳をとっても寿命が尽きるまで元気である方法安静は麻薬 運動は万能薬」をテーマに講演いただきました。また、シンポジストも学外からお招きし、本学教員も参加しシンポジウムを行いました。

##### イ. 熊取町との連携

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任
- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設

- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「熊取ゆうゆう大学 大学連携講座」「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力

#### ウ. 大学間連携の強化（大学コンソーシアム大阪）

大学コンソーシアム大阪の一員として、引き続き事業に参加し、連携しています。

特に大学の募集活動並びに大学運営に必要なと思われる事業について、積極的に連携を図りました。

#### エ. 関西鍼灸系大学間連携協議会における連携

2016年度より関西の鍼灸系学科を設置する4大学で標記協議会を組織しています。2018年度も、FD・SD、学術交流、広報、就職等において連携を行いました。

#### (17) 大学ポートレートへの参加

平成26年度より、日本私立学校振興・共済事業団が運営を開始した「大学ポートレート」（全国の私立大学が統一フォーマットの下、インターネット上で教育情報を開示する事業）に参加しました。平成30年度も引き続き本事業への参加を継続し、本学の教育理念と教育の特色および最新の教育関連データ等を受験生、保護者、高校進路指導担当者等のステークホルダーに対して提供しました。

#### (18) IR（Institutional Research）活動への取組み

学長の指示のもと、IR推進室が中心となり、GPA（Grade Point Average 各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の総合的な成績評価値）等を利用したデータを作成し、本学における教育・研究及び業務運営の向上に資する学内の情報を分析して、退学者、休学者を減らすための対策を始め、学内における協議や検討に有益となる情報発信を行う取り組みを開始しました。

#### (19) 「ナースングカフェわかば」の大学事業化

保健看護学科の教員と学生（1～4年生）が協力し、「赤ちゃんから高齢者まで誰もが交流できる『場』の提供と健康づくり応援隊」をコンセプトとして、毎月第3土曜日に「ナースングカフェわかば」を運営し、2018年7月までに24回開催し、延べ572人の参加者がありました。ここでは、イベントの開催や血圧測定や骨密度、血管年齢などの健康チェックを行うなどして、参加者から好評を得ているだけでなく、参加学生同士の交流の場ともなっています。

地域とつながり、貢献できる大学として、また、健康づくり応援隊として、健康や看護、介護、育児、暮らしに関することを自由に情報交換・相談できる場の提供を、大学事業の一つとして継続することにしました。この取り組みをホームページ等にも掲載し、広報活動にも役立てました。

### 3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として重要な役割を果たしています。

平成 30 年度は、保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションにおいては、地域の介護支援事業者と日常的な連携を強化し利用者の増員を図り、よりよい通所リハビリテーションに努めました。

#### (1) 附属診療所の運営

昨年と同様、平成 30 年度は医療リハビリから通所リハビリへの移行期にあたり、通所リハビリの利用者が増加しており、安全面等に気を配り、よりよい環境に改善し運営に努めました。

また、今年度も平成 15 年に購入した医療機器の老朽化に伴い診療体制に見合う更新及び導入し、運営に努めました。

#### (2) 鍼灸治療所の運営

鍼灸治療所においては、7 月から開始した新規若年層を目的とした、Web を中心としたマルチメディアへの露出度を高めました。また、近隣の地域と本学附属診療所各科ともに連携をより一層深め増患対策に努めました。

#### (3) 附属接骨院の運営

平成 30 年度も引き続き増患対策の一環として、運動指導・運動教室・アロマの施術等に努めました。

患者のリピート率も徐々に増加しており、治療部長を中心とした治療方針及び情報共有により患者ニーズに沿った治療体制、病状に合った施術方法を確立し、接骨院内での運動指導及び接骨院外の運動教室の強化、診療所・鍼灸治療所との連携により患者数の増加を図りました。

#### (4) 危機管理体制の充実・強化

インフルエンザ等の感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました

#### (5) 広報活動の推進

平成 30 年度は、以下の通り引き続き広報活動を行い、費用対効果を考慮し、保健医療施設全体の認知度向上を図りました。

ア. 地域情報誌等への P R 活動

イ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民への P R

ウ. ホームページ委員会と連携し充実した内容に随時更新しました。

エ. 接骨院主催の運動教室・公開講座参加者等への P R をしました。

オ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携を図りました。

カ. 診療所院内及び外部への P R に努めました。

## 4. 専門学校

#### (1) 新教育課程に対する対応と将来構想の検討

新教育課程の適用となった柔道整復学科では、臨床実習指導者講習の情報収集のため、他校で開催された同講習会を視察しました。令和 2 年度から新教育課程の適用となる理学療法学科では、カリキュラムの改定及び教育用機器の整備準備を行うとともに、新規則による臨床実習指導者講習に係る中央講習会（講師・ファシリテータの養成講習）を専任教員が受講して、課程を修了しました。

また専門学校将来構想について、夜間部の募集停止を含む学科の再編及び入学定員の見直し等について、専門学校将来構想検討委員会において検討を行いました。

## (2) 自己点検・評価の実施と公表

自己点検・評価委員会において、平成29年度の点検評価を行うため、小委員会を組織して評価をまとめ、ホームページに公表しました。

## (3) F D・S D活動等

### ア. F D・S D研修会等に関わるもの

#### 7) 東洋医療（鍼灸）学科 F D 研修

「あはき師教育について」（平成30年6月16日（土曜）13:00～14:00 開催、本校）

講師 武田貴司 学科長、鳥邊優美子 教務部長

「あはき師養成施設における問題点について」

（平成31年3月28日（木曜）13:00～16:00 開催、京都仏眼鍼灸理療専門学校）

#### 4) 柔道整復学科 F D 研修（平成30年6月16日（土曜）14:00～15:00 開催、本校）

「柔道整復師教育について」

講師 森岡泰之 学科長

#### 4) 理学療法学科 F D 研修（平成30年8月1日（水曜）13:00～14:00 開催、本校）

「理学療法士教育について」

講師 西守 隆 学科長

#### 1) 事務職 S D 研修（平成30年8月1日（水曜）14:00～15:00 開催、本校）

「図書室業務について」

講師 槌野幸子 司書(学務課図書係)

#### 2) ハラスメント防止研修

「ハラスメント問題の基本的理解と防止について」

（平成30年7月7日（土曜）10:00～11:30 開催、大阪）

講師 金井敬三 氏(大阪人権協議会サポートセンター 専任講師)

#### 3) 学校協会教員研修

① 東洋療法学校協会教員研修会参加（平成30年8月6日～7日、神奈川）

② 柔道整復学校協会教員研修会参加（平成30年8月18日～19日、東京）

③ 全国リハ学校協会教員研修会発表・参加（平成30年8月23日～25日、北海道）

#### 4) 教育講演会

「人生を成功へ導く人間力」（平成30年4月7日（土曜）14:30～16:00 開催、本校）

「人間力の錬磨／コミュニケーションスキルの要諦」

（平成30年4月8日（日曜）10:30～14:30 開催、本校）

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

#### 5) 入試広報研修

「オープンキャンパスアンケート結果報告」

（平成30年5月16日（水曜）15:00～17:30 開催、本校）

講師 鞍谷早紀 氏(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)

「2019 入試動向報告報告会」

（平成31年3月19日（火曜）13:30～14:50 開催、関西医療大学）

講師 隅本圭佑 氏(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)

#### 6) その他

① 高等教育無償化に関する研修参加

- 1) 東洋療法学校協会制度委員会「高等教育無償化制度について」  
(平成30年11月19日(月曜) 14:00~16:30 開催、東京)
- 2) 文部科学省「高等教育の負担軽減方策に関する説明会」  
(第1回 平成30年12月3日(月曜) 14:00~16:00 開催、大阪)  
(第2回 平成31年3月12日(火曜) 14:00~16:00 開催、大阪)
- 3) 柔道整復学校協会制度委員会「文科省の最近の動向(高等教育無償化制度について)」  
(平成31年1月31日(木曜) 14:15~16:45 開催、東京)
- ②専門職大学セミナー参加(平成30年6月28日(木曜) 15:00~17:30 開催、大阪)
- ③教育セミナー参加 「進研アド 初年次教育セミナー2018」  
(平成30年7月26日(木曜) 15:00~17:30 開催、大阪)
- ④留学生関係研修参加「出入国管理行政の現状と留学生の受入れ・在籍管理について」  
(平成30年7月25日(水曜) 14:00~16:10 開催、大阪)
- ⑤関西医療大学SD研修参加「血と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」  
(平成30年8月30日(木曜) 14:00~16:00 開催、関西医療大学)
- ⑥大阪南労働基準監督署働き方改革関連法令研修参加  
(第1回 平成30年9月11日(火曜) 13:30~16:00 開催、大阪)  
(第2回 平成31年3月8日(金曜) 13:30~16:30 開催、大阪)
- ⑦会計事務研修参加  
「私立大学を取り巻く現状と課題」  
(平成30年10月11日(木曜) 14:00~17:10 開催、大阪)  
「会計上の決算留意事項について」  
(平成31年3月5日(火曜) 13:30~17:10 開催、大阪)
- ⑧奨学事務研修参加「2019年度奨学金事業について」  
(平成31年2月21日(木曜) 13:00~16:30 開催、大阪)

#### イ. 教育講演会の開催

年度始めにあたり、学生のモチベーションを引き出す取り組みとして、教育講演会を開催しました。この講演会は教職員も研修の一環として拝聴しました。

新入生 「人生を成功へ導く人間力」(平成30年4月7日(土曜) 14:30~16:00 開催、本校)

在校生 「人間力の錬磨/コミュニケーションスキルの要諦」

(平成30年4月8日(日曜) 10:30~14:30 開催、本校)

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

#### ウ. その他

専任教員は、大学等教育研究機関、病院等医療提供施設で研修に努め、校内での教育活動に還元しました。また、事務職員についてもスキルアップに努め、ファイナンシャル・プランニング技能士2級(日本ファイナンシャル・プランナーズ協会)、日商簿記検定3級(日本商工会議所)に各1名が合格しました。

#### (4) 学生に対する支援等

##### ア. 入学前教育の実施

入学手続者について、入学前の不安を解消し、学習方法等の説明や専門分野に興味をもたせるような事前学習を案内することにより、安心して学生生活に進むことができるようにプレスクールを開催しました。(平成31年2月)

#### イ. 保護者懇談会の開催

理学療法学科では入学式終了後に保護者懇談会を開催し、29名の保護者に出席頂きました。

このなかで、本校の教育方針と指導内容を説明し、各家庭においても共通した認識で学生の支援を行っていただけるよう保護者との相互理解を図りました。

#### ウ. 奨学金による経済的支援

ア) 特待生奨学金による学費減免

イ) 柔道奨学金の給付

#### (5) 教育環境・施設設備の整備

大阪北部地震による修繕として、本館5階バルコニーの床シートの張り替えを行いました。

このほか、本・別館校舎の消火栓ホースの更新及び本館校舎の高圧受電設備機器の更新工事、経年劣化による本館校舎1階防火シャッターの修繕取り替え、玄関ホール自動ドアの部品取り替えを行いました。

#### (6) 学務基幹業務システム等の導入準備

次年度から導入運用する学務基幹業務システムについて、運用内容の詳細について、選定業者と学科担当教員及び事務担当者による調整を行いました。

#### (7) 行政庁への申請手続き等について

##### ア. 職業実践専門課程の実績確認手続き

東洋医療学科、東洋医療鍼灸学科（昼間・夜間）及び柔道整復学科（昼間・夜間）について、職業実践専門課程の実績確認に係る手続関係書類を大阪府教育庁に提出しました。

##### イ. 理学療法臨床実習施設の変更承認申請

平成31年度から適用する理学療法臨床実習施設の変更を申請し、平成30年8月9日付けで大阪府知事の承認を受けました。

## 5. 平成31年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考	
関西医療大学	保健医療学部（250名）	1,698名	263名		
	保健看護学部（90名）	1,044名	95名		
	小 計（340名）	2,742名	358名		
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	14名	13名		
	合 計（349名）	2,756名	371名		
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科（30名）	52名	30名		
	東洋医療鍼灸学科	昼(30名)	43名	23名	
		夜(30名)	26名	9名	
	柔道整復学科	昼(60名)	40名	35名	
		夜(30名)	17名	4名	
	理学療法学科（40名）	60名	40名		
	合 計（220名）	238名	141名		
総 計（569名）	2,994名	512名			

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

## 6. 平成30年度 資格試験の合格者状況

学 校 名		資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合 格 率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	はり師	47名	43名	41名	95.3%
		きゅう師			42名	97.7%
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	64名	62名	61名	98.4%
	保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科	柔道整復師	35名	28名	17名	60.7%
	保健医療学部 臨床検査学科	臨床検査技師	49名	47名	43名	91.5%
	保健看護学部 保健看護学科	看護師	98名	98名	97名	98.9%
		保健師			15名	14名
助産師		5名			5名	100.0%
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	29名	29名	27名	93.1%
		はり師			27名	93.1%
		きゅう師			27名	93.1%
	東洋医療鍼灸学科	はり師	57名	54名	45名	83.3%
		きゅう師			47名	87.0%
	柔道整復学科	柔道整復師	51名	44名	29名	65.9%
理学療法学科	理学療法士	39名	39名	37名	94.9%	